

「第3回花山フェスティバル」

1. 趣旨 国立花山青少年自然の家を広く県内各地の方々に開放し、大自然の中でのさまざまな活動を通して施設の理解を図るとともに、家庭教育支援の一助とする。
2. 主催 宮城県「体験の風をおこそう」運動推進委員会
(事務局 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立花山青少年自然の家)
3. 後援 栗原市教育委員会
4. 協力 宮城県松島自然の家、宮城県蔵王自然の家、宮城県志津川自然の家、オーエンス泉岳自然ふれあい館、国立岩手山青少年交流の家、国立磐梯青少年交流の家、国立那須甲子青少年自然の家、山形県神室少年自然の家、岩手県立県南青少年の家、栗原市産業経済部ジオパーク推進室、(株)ニッコトラスト
5. 事業の概要
 - (1) 期日 平成29年10月14日(土)～10月15日(日)
 - (2) 参加者
 - ①参加対象 家族
 - ②参加人数 517人(宿泊:40組177人 日帰り:340人)
6. 企画・運営のポイント
 - ①家族利用が可能であり、家庭教育の一助となる施設であることを多くの方に理解してもらうために、相部屋利用に理解を促し多くの家族を宿泊できるようにした。
 - ②地域ぐるみで「体験の風をおこそう」運動を推進し、多くの人に体験活動の楽しさ、大切さを知ってもらうために、地域団体、公立、国立施設に協力を依頼し、できるだけ多くの体験コーナーを設置した。
 - ③本施設で活動する学生ボランティアが、より自主的で活発な活動ができるようにボランティア企画を実施する機会を設けた。
7. 設置コーナーについて
 - 【10月14日(土) 夜間】
 - ①遊びリンピック ②ハロウィンナイト(ボランティア企画) ③たき火ナイト
 - 【10月15日(日) 日中】
 - ①オリジナル缶バッジづくり ②丸太切り、竹とんぼづくり ③わたあめづくり
 - ④ボールプールで遊ぼう ⑤ドラム缶ピザづくり ⑥アウトドア体験
 - ⑦幼児のための36の動き体験 ⑧ひろみちお兄さんの体操教室
 - ⑨うちわづくり、布の干し柿づくり ⑩ジオパーク実験(栗原市ジオパーク推進室)
 - ⑪ミニ動物園(一迫鈴木牧場) ⑫東北大学学友会応援団パフォーマンス
 - ⑬空き缶ランタンづくり(宮城県松島自然の家)
 - ⑭こけしの絵付け、輪切りの壁掛け(宮城県蔵王自然の家)
 - ⑮キャンドルづくり(栗原市西部地域活動支援センター)
 - ⑯ストラックアウト(国立那須甲子青少年自然の家)
 - ⑰森のキーホルダーづくり(岩手県立県南青少年の家)
 - ⑱スーパーボールロケット(国立磐梯青少年交流の家)
 - ⑲スリッパ卓球(国立岩手山青少年交流の家)
 - ⑳竹の箸づくり(オーエンス泉岳自然ふれあい館)



〔ドラム缶ピザづくり〕



〔ボールプールで遊ぼう〕

8. 日程について

	10月14日(土)		10月15日(日)
15:00	受付	6:30	宿泊者起床
16:40	宿泊者インフォメーション	7:20	朝食・部屋清掃
17:30	夕食・入浴 夜間イベント	9:30	開会式
22:00	就寝	10:00	「ひろみちお兄さんの体操教室」
		15:30	終了

9. 主な活動の内容



〔遊びリンピック〕



〔ハロウィンナイト〕



〔たき火ナイト〕



〔ひろみちお兄さんの体操教室〕〔東北大学学友会応援団パフォーマンス〕〔空き缶ランタン〕

10. 成果と課題

(1) 参加者アンケート結果 (12家族提出)

満足：67% やや満足：33% やや不満：0% 不満：0%

(2) 参加者の声

- ・すごく楽しかったです。子どもが小さいときの貴重な時間のありがたみを再認識しました。楽しみにして、また来たいと思います。
- ・私も子供も小学校5年生の合宿で来たことがあり、親子共に思い出のあるこの花山で体験活動をする機会が持てることは、親子の会話にもつながり、すごく良いことだと思います。
- ・ひろみちお兄さんの体操教室がとても良かった。食堂のご飯もいろいろ工夫があり、とてもおいしかったです。

(3) 成果

- ・「ひろみちお兄さんの体操教室」に参加した親子に対して、本施設で推進している「遊んで身に付く36の基本的な動きを取り入れた幼児の運動プログラム」について周知することができた。
- ・宮城県内及び岩手県、山形県の自然の家の協力のもと、たくさんの体験活動を提供して参加者に大いに楽しんでもらうことができ、地域ぐるみで「体験の風をおこそう」運動を推進することができた。

(4) 課題

- ・昨年よりも体験コーナーの数が増え、多くの参加者に楽しんでもらえたが、自然に直に触れるような体験活動の希望があり、体験コーナーの内容について検討していきたい。
- ・宿泊参加者を増やすための広報の在り方を工夫し、早い時期に周知する必要がある。

担当：主任企画指導専門職 狩野 浩二